《ゼミナールだより》

恒友会

(関恒義先生ゼミ)

総会

日時：11年10月30日(土)

場所：如水会館「富士の間」

出席者：関恒義先生、楠木(1回)、

中山、新田、能森、古河(2回)、

池田、川端、小佐々、小松沢、

花水、松井、三股(3回)、茂住

(4回)、天野、白井、高橋、藪

田(5回)、北村、本多(6回)、

柴田、豊島(7回)、松木(8回)、

木村(9回)、斉藤(17回)、進藤

鈴木、山田(23回)、萩本(24回)、

柏木(25回)、斉藤、宮本(27回)、

相川(28回)、江本、渡辺(30回)

以上35名

9月に完成した会誌「恒友」第

5号の発刊を記念して2年半振り

に総会を開きました。「恒友」第4

号が発刊されたのは、先生が退官

された昭和63年でしたので、11年

振りの会誌発行であります。

先生は本年75才になられ、2年

後には喜寿を迎えられますが、年

来の肺気腫から酸素吸入器は手放

せないものの、意気軒昂なところ

は相変わらずで、ゼミテンのスピ

ーチに時には暖かく時には舌鋒鋭

い叱咤激励の言葉を掛けておられ

ました。

先生は、今夏住まいを小金井市

貫井北町から同じ市内の関野町へ

移されましたが、「読む・書く・

飲む」をモットーに生活を送って

おり、積年の念願である『経済学

批判史体系』の執筆に精を出して

おられるとの紹介がありました。

ゼミテンからは各回代表のスピ

ーチがあり、卒業以来初めて恒友

会に顔を出した人、卒論にまつわ

る思い出など、過去・現在・将来

に亘る話がありました。

中締めで一橋の歌・一橋会々歌

を唄い、恒友会の発展を祈るエー

ルを発して閉会となりました。

次回総会は、2年後に先生の喜

寿祝いの会を行う予定です。

なお、インターネット時代に対

応して、電腦恒友会を設けるべく

如水会ネットにホームページとメ

ーリングリストを開設致しました。

(幹事 北村記)